令和3年6月14日

貧酸素水塊速報（2021年）

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター　千葉県農林水産技術会議
神奈川県水産技術センター　内湾底びき網研究会連合会
【協力】 千葉県環境研究センター　○ 東京都環境局
第三管区海上保安本部　（国）国立環境研究所
○ モニタリングポスト（海上保安庁，国土交通省 関東地方整備局）
（今回の速報は"○"の機関の観測データを使用して作成しました）

令和3年4月20日観測結果

貧酸素水塊は羽田沖に分布していました（図1）。

縦断ラインの鉛直分布をみても、貧酸素水塊の厚みは薄く（図2）、小規模でした（図3）。

水温は表層15～17℃，底層15～16℃でした。

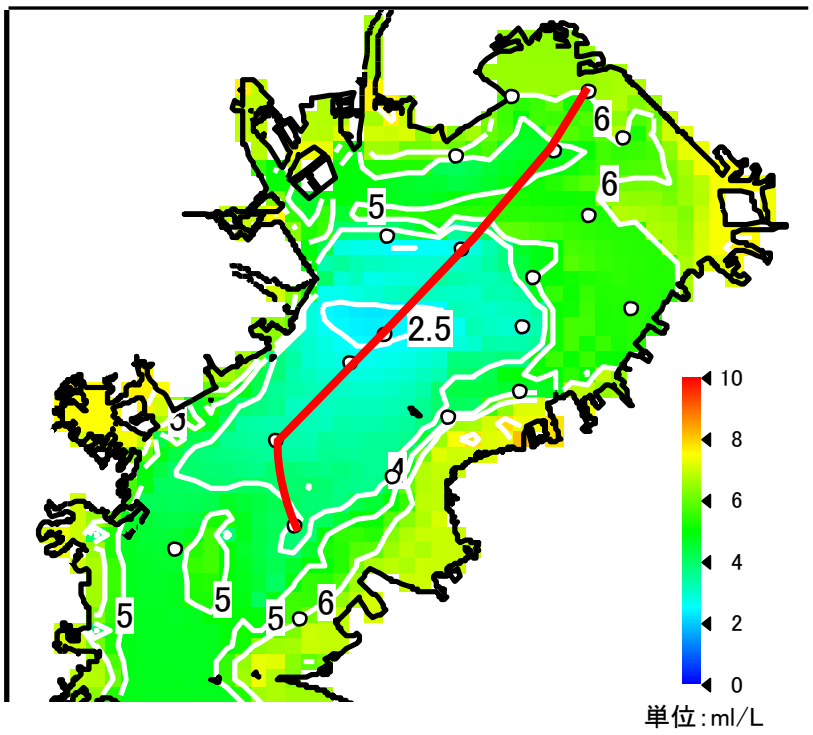

図1 底層の溶存酸素量分布（赤線は縦断ライン）

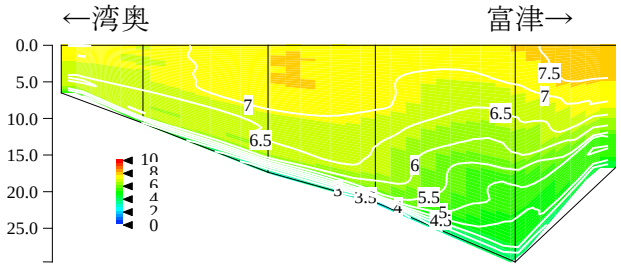

図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

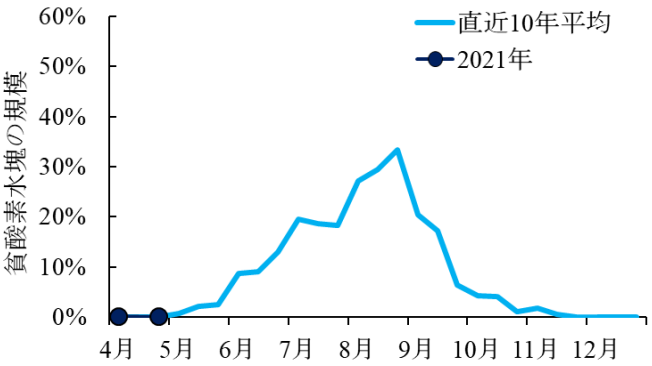

図3 貧酸素水塊の規模
（左図で貧酸素水塊（2.5ml/L以下）が占める割合）